

自然に倣った再生技術で法面を緑化

調査・設計

計画・解析

施工・ICT技術

安全

環境

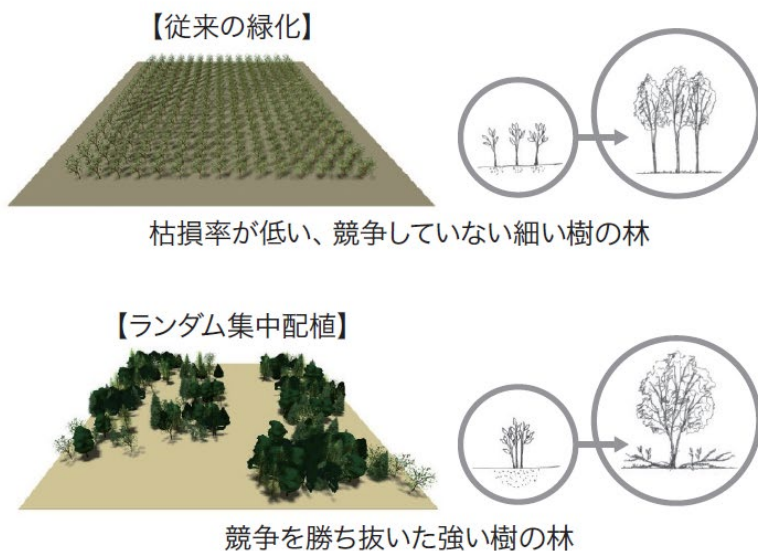
お客様のメリット

- 自然配力緑化技術を用いて将来の「森」を作ることができます。
- 樹木間の競争を促し、競争に勝ち抜いた強い樹木による「森」が再生できます。
- ギャップの効果により地域の遺伝子を持った植物が定着します。

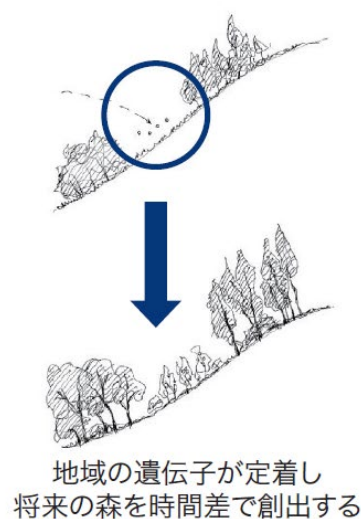
技術の特徴

従来の法面緑化では等間隔に列植を行うため、競争していない細い樹木がたくさんある「林」ができます。一方、自然配植緑化技術は、ランダム集中配植という樹木をかためて3本巣植えることで樹木間の競争が生まれ強い樹木が残ります。またランダムに植えることでギャップが生まれ、このギャップに地域の遺伝子を持った植物が定着して将来の「森」を作ることができます。

従来の列植は均一な「林」をつくる
集中配植は樹木間競争を促す



【ギャップの効果】



ランダム集中配植 概要図

実績・事例

富士山南陵工業団地、ESR尼崎ディストリビューションセンター

社外表彰

2020年度 土木学会「環境賞（Ⅱグループ）」

2022年度 国立環境研究所/(株)日刊工業新聞社「環境賞 環境大臣賞」



▲プレスリリースはこちら